

## 更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 山内産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		経営目標を策定し、年末年始の集会・毎週の会議にて社内で共有し社員に周知を行っています。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則に明記しており、社員全員に常に周知しコンプライアンスの推進を行っています。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		公正な取引に努めることを周知し、数社見積を行い適正価格での受注に取り組んでいます。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		担当者・責任者を定め、自社の企業活動が社会・環境に及ぼす影響を把握しています。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		図面や写真、施工方法などが外部に流失しないよう管理を徹底しています。また、秘密保持義務規定を設けており、就業規則に明記しています。								8.2 8.3	9								16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		シュレッダーを活用するとともに、管理場所を限定し、閲覧する担当者も定めています。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		取引先や県・市役所の職員の方々との対話はもちろん、工事現場周辺の地域住民とも事前に挨拶を行い説明のうえ、交流を深めています。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5			8		10		12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCPの一環として、現場ごとに緊急時連絡体制を整備し都度確認を行っております。								9		11		13.1					16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則に明記しており、従業員全員が確認できる場所に掲示しています。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		予想される事故防止対策をはじめ、作業事故・交通事故を防止するため安全教育ビデオ等を活用しながら安全訓練を工事毎に毎月実施しています。		3						8.8										
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正社員と非正規雇用労働者との間に不合理な待遇差を設けていませんが、改正後の「パートタイム・有期雇用労働法」及び、「同一労働同一賃金ガイドライン」を理解し、必要に応じて、就業規則等の見直しを行っています。					5.5			8.5 8.8		10.2 10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		労働基準監督署のルールのもと年単位の変形労働時間制を取り入れており、時間効率化の為に毎週会議にて工程管理を行っています。また、積極的な有給休暇の取得も推奨しています。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		本業の資格取得を推進しており、積極的な講習会参加の推奨や各種資格取得に必要な費用(講習費や受験費用等)を支給しています。(毎年2.3人は取得)			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		年1回健康診断を実施すると共に、夏場は熱中症対策のために経口補水液や空調服を支給しています。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		作業者の高齢化に伴い定年を60歳から66歳に引き上げ、その後も高齢者の継続雇用を推奨しています。			4.4	5.1 5.5			8.5 10.2 10.3									16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		県内外の協力企業との打ち合わせ等はリモートを積極的に使用しています。			3					8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		入札の電子化により積算ソフト(公共工事の見積もりの為)を導入しています。また現場との連携はすべてPCやスマートフォンを活用しています。							8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●			3	4					8	9		12								

## 更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 山内産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物マニフェストを使用し、適正な業者に処理を依頼しています。またエコアクション21も取得しています。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		毎月電力やガソリンの使用量を確認しており、排出ガス対策型の重機の使用や事務所内の照明をLEDに変更しながら削減に取り組んでいます。また、事務所倉庫の屋根には太陽光パネルを設置し再生可能エネルギーの利用を行っています。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		エコアクション21での取組で自社の温室効果ガスの排出量を把握しています。また、低排出ガス認定車の重機を使用しながら、アイドリングストップなどエコドライブを徹底し抑制に励んでいます。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		建設業協会が主催している清掃ボランティアに毎年参加し環境保全に取り組んでいます。(継続30年)また、社内ではマイボトル・マイバックを推奨しています。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		公共工事に関する書類に関してはペーパーレス化しており、社内で紙での保管が必要であれば、必要性を精査し裏紙を使用するようにしています。								9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		節水の目標を定め、毎月メーター点検にて使用量を確認しながら節水に取り組んでいます。また、浄化槽を設置し適正に処理を行っています。		2.4					6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		再生紙100%の製品やFSC認証の環境に負荷のかからない製品を使用しています。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		社内イベント(花見、忘年会)などで3010運動を実行し、食品ロス削減に取り組んでいます。	1	2				6.4							12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		事務所内に観葉植物を置き、緑の創出に取り組んでいます。また、NPO法人主催の植樹活動に参加し保全に取り組んでいます。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		照明はLED電球に交換し省エネを目指しているほか、排ガス対策の重機を取り入れています。また、倉庫屋根に太陽光パネルを設置し再生可能エネルギーの利用に取り組んでいます。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		NPO法人「NPO21くまもと」が主催の植樹活動に10年間参加しております。						6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		NPO法人「NPO21くまもと」が主催している金峰山の植樹活動に取り組んでいます。(継続10年間)							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 山内産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 12

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		施工計画書を策定し品質向上に取り組んでおり、公共工事は工事成績の評定において表彰されるなど、サービスの安全性や品質の確保する仕組みを構築しています。(水道工事:2016年表彰、整備工事:2021年表彰、2024年表彰)			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		地域の方々の要望を取り入れ、利用しやすい環境整備・道路整備を行っています。また、事務所では玄関に手すりを付けています。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●			2.3 2.4						7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●		事務所の建て替えにおいては、天井、床、壁などの内装や外壁に県産の木材を使用しております。						7					12.2	13.1		15				
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15			17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		現場付近のゴミ拾い・草刈を自発的に行っているほか献血・清掃ボランティア活動・植樹ボランティア活動にも参加しています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップを確認し、避難訓練及び緊急時の備蓄品(ヘルメット等)を準備しています。				4								11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		県・市と防災協定を締結しており、緊急時の備蓄品の確保、防災取り組み体制を取り決めています。また、地域の「子ども110番の家」に登録しています。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		本社と各現場事務所においてSDGsに関しての掲示を行い、入社時には社員研修としてSDGsへの意識を浸透させる取組みを行っています。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●						4					8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		県内の工業高校に採用案内を行い、新規・中途の若手社員の採用を積極的に行っています。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15			17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。